



節目の年に、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を強く願う「ヒロシマの心」を広めるため、さまざまな取り組みを実施します。
園政策企画課 (☎504-2014、☎504-2029)

次世代に思いをつなぐ

被爆者の高齢化が進む中、次世代に「ヒロシマの心」をつないでいくことがますます重要になっています。市は、被爆体験の継承にデジタル技術を活用したり、全国の自治体による若い世代の平和学習を支援したりするなど、平和文化の担い手の育成に力を入れて取り組みます。

80の記念事業を実施

今年度は「原爆死没者の慰霊と被爆者の援護」「平和文化の振興」を柱に、次の六つのテーマに沿って事業を実施します。

- 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護
- 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感
- 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供
- まちの姿を通した平和への願いの発信
- 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり
- 平和都市としての国際的な認知度の向上

各事業について詳しくは市ホームページで

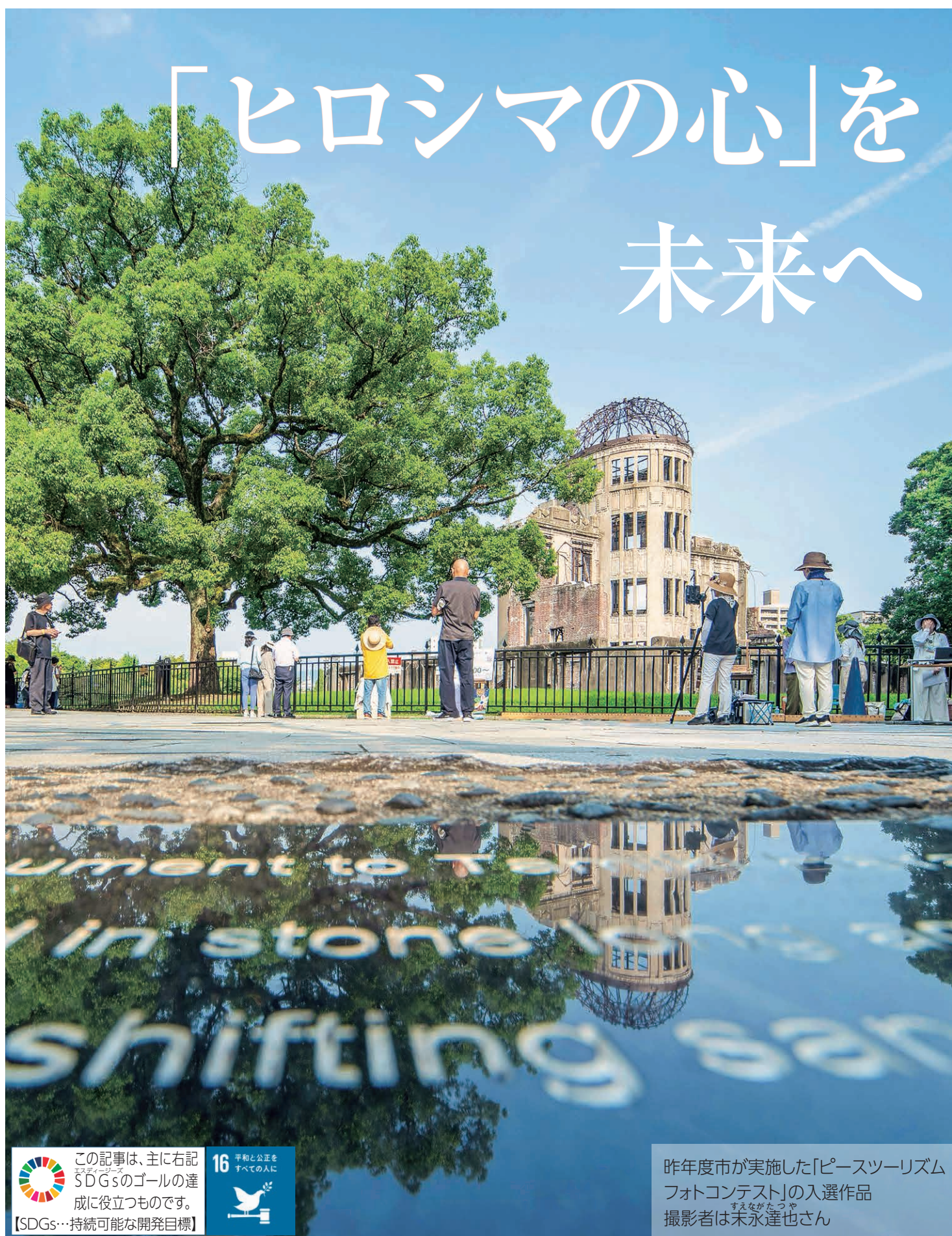
市HP ページ番号 1031220



市民総出で 新たなスタートを切る年に

被爆80周年記念事業は、上のロゴマークを使って広報します。また、市の事業に限らず、市民などが主体となっていく「平和文化の振興」の取り組みにも使います。このマークを目印に、さまざまな催しに参加してみてください。

平和への思いを未来へつなげていく、新たなスタートの年にしませんか。



この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。
【SDGs…持続可能な開発目標】



昨年度市が実施した「ピースツーリズムフォトコンテスト」の入選作品
撮影者は末永達也さん

被爆ピアノと一緒に地域を巡ることが、「平和の種まき」になることを願って

被爆80周年記念事業の一つ、「被爆ピアノによる慰霊演奏会」。主催者の「ひろしま被爆ピアノ友の会」代表・手島秀昭さん(81・下写真)に話を聞きました。

被爆ピアノの優しい音色で 平和の大切さを伝えたい

被爆ピアノとは、爆心地から約3キロ以内で原爆の被害を受けたピアノのこと。このピアノが奏でる音楽を通して平和を伝えようと、25年前から、仲間と一緒に全国を巡っています。



いま、私にできることを

私も高齢になり、元気なうちにできる限りのことをしたいと思い、昨年1月から、市内の慰霊碑を巡り、被爆ピアノによる慰霊演奏をしています。

実は市内に200カ所以上ある原爆慰霊碑。身近な場所にあってもそれが慰霊碑かどうか。慰霊碑の存在を知り、平和について考えるきっかけとなるよう、演奏を住民にお願いしたり、参加を呼びかけたり、地域と協力して開催しています。



「湯来町原爆慰霊碑」前で原爆死没者へ演奏・合唱を届ける湯来保育園の皆さん

5月からは中区内を巡る予定で、最終地点は平和記念公園。8月5日(火)16:30から、原爆死没者慰霊碑横で演奏します。被爆ピアノの、力強く優しい音色を聴きながら、平和への祈りをささげませんか。同演奏会についての問い合わせは、平和推進課(☎242-7831、☎242-7452)へ